

くずまき 議会だより



笑顔のつどい 58

国民健康保険税率改正を可決

～健全な国保事業運営のため～

2p

町の課題解決に向けて

～輝くふるさと常任委員会行政視察研修～

6p

グループホーム整備の進捗は

～5議員が一般質問～

9p



表紙

小屋瀬小学校
学習発表会
(関連14P)

国民健康保険税率改正を可決 健全な国保事業運営のため

12月定例会議は、12月6日から12日までの7日間の日程で行われました。町長から提出された議案は6年度補正予算など9件で、全議員の賛成で原案どおり「決定」しました。
一般質問では5人の議員が登壇し、町の対応や考えをたがしました。

国保事業は、平成30年度から県と町とが共同で運営する仕組み（都道府県化）に移行しました。保険給付を県内、全被保険者で支えあう仕組みとなっており、県内どこに住んでいても、同じ保険給付を同じ保険料で受けられる「保険税水準の統一」に向けた取り組みが進められています。
町は、国保被保険者の保険税負担の軽減を図るため、一般会計からの繰り入れを実施してきましたが、都道府県化移行により、繰入金を段階的に削除してきました。
繰入金削減により不足する財源は、国保財政調整基金を取り崩して補ってきましたが、基金残高が枯渇する見込みとなり、令和7年度予算に財源不足が生じる見込みとなりました。
今後の、財源不足解消と、国民健康保険事業の健全な運営を確保するために、国民健康保険税率の改正について提案され、全員賛成で可決しました。

町は、国保被保険者の保険税負担の軽減を図るため、一般会計からの繰り入れを実施してきましたが、都道府県化移行により、繰入金を段階的に削除してきました。
繰入金削減により不足する財源は、国保財政調整基金を取り崩して補ってきましたが、基金残高が枯渇する見込みとなり、令和7年度予算に財源不足が生じる見込みとなりました。

主な改正内容

区分	現行	改正	比較	
医療保険分	所得割額	5.0%	6.8%	1.8
	資産割額	25.0%	22.2%	△2.8
	均等割額	17,000円	18,000円	1,000円
	平等割額	24,000円	24,800円	800円
	(特定世帯)	12,000円	12,400円	400円
後期高齢者支援分	(特定継続世帯)	18,000円	18,600円	600円
	所得割額	1.7%	3.1%	1.4
	資産割額	9.5%	9.7%	0.2
	均等割額	5,600円	7,700円	2,100円
	平等割額	7,800円	10,600円	2,800円
介護分	(特定世帯)	3,900円	5,300円	1,400円
	(特定継続世帯)	5,850円	7,950円	2,100円
	所得割額	1.5%	2.4%	0.9
	資産割額	10.0%	10.0%	改正なし
	均等割額	8,000円	9,000円	1,000円
平等割額	7,000円	9,100円	2,100円	

※特定世帯…世帯内の国民健康保険加入者が後期高齢者医療制度に移行したことにより、一人だけが国民健康保険に残った世帯で、国民健康保険の資格を喪失した日に属する月（特定月）以後5年を経過する月までの間にある世帯

※特定継続世帯…世帯内の国民健康保険加入者が後期高齢者医療制度に移行したことにより、一人だけが国民健康保険に残った世帯で、特定月以後5年を経過する月の翌月から特定月以後8年を経過するまでの間にある世帯



窓口納付の住民の様子

補正予算

◇一般会計（第4号）

9308万円追加し、総額を78億5592万円としました。

主な内容は、8月の大雨災害による小屋瀬地区の災害復旧工事の補正。

◇国民健康保険事業（第1号）

4874万円追加し、総額を8億3944万円としました。

条例改正等

●町税条例の一部改正

国民健康保険事業の財源不足を解消するため、国民健康保険税の税率を改正。

●国保病院事業の設置等に関する条例及び町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

地方自治法の一部改正に伴う改正。

●印鑑証明書のコンビニ交付サービス実施のための一部改正

印鑑証明書のコンビニ交付サービス実施のため一部改正。

●手数料条例の一部改正

住民票等の各種手数料の金額を200円から、300円に改正。

●町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術監督者の資格基準に関する条例の一部改正

水道法施行令及び水道法施行規則の改正による一部改正。

●町中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定

町の中小企業者等の振興に関する施策を、総合的かつ計画的に推進するため、新たに条例を制定。

●国家賠償請求に係る和解

国家賠償法に基づく損害賠償請求に係る和解と損害賠償額の内容を議決。

補正予算の主な内容

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計（第4号）	9308万円	78億5592万円
国民健康保険事業（第1号）	4874万円	8億3944万円
主な使いみち		
■ 公共土木施設災害復旧 事業		2669万円
■ 障害者自立支援給付事業費		1602万円
■ 森林環境譲与税基金積立金		1010万円
■ 庁舎管理経費		600万円
■ 農地等災害復旧事業		350万円
■ 林道施設災害復旧事業		400万円



災害復旧工事が進められる山形川法面（小屋瀬地区）



議員の判断 〈議決結果〉



議案等番号	議案と主な内容	議決結果	賛否
令和6年度：補正予算			
議案第39号	一般会計（第4号）…9308万円増額し、78億5592万円に	可決	全員賛成
議案第40号	国民健康保険事業勘定特別会計（第1号）…4874万円増額し、8億3944万円に	可決	全員賛成
条例改正等			
議案第41号	葛巻町町税条例の一部改正…国民健康保険事業勘定特別会計の財源不足を解消するため国民健康保険税率を改正	可決	全員賛成
議案第42号	葛巻町国民健康保険病院事業の設置等に関する条例及び葛巻町上下水道事業の設置等に関する条例の一部改正…地方自治法の改正に伴う一部改正	可決	全員賛成
議案第43号	印鑑条例の一部改正…印鑑登録証明書のコンビニ交付に係る条例整備	可決	全員賛成
議案第44号	手数料条例の一部改正…住民票等の各種手数料の額を200円から300円に増額	可決	全員賛成
議案第45号	葛巻町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正…水道法施行令及び水道法施行規則の改正に伴う一部改正	可決	全員賛成
議案第46号	葛巻町中小企業及び小規模企業振興基本条例…中小企業等の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため新たに制定	可決	全員賛成
議案第47号	国家賠償請求に係る和解及びこれに伴う損害賠償の額を定めること…国家賠償請求に係る和解と損害賠償額350万円	可決	全員賛成

※議長は採決に加わりません。

くずまきテレビ録画放送の予定

月日	時間	内容
1月10日（金）	9時～	議案説明、一般質問
	17時～	議案審査、審議結果
1月11日（土）	9時～	議案審査、審議結果
	17時～	議案説明、一般質問
1月12日（日）	9時～	議案説明、一般質問
	17時～	議案審査、審議結果

議会活動報告

●盛岡地区広域消防組合議会10月定例会

- ・出席者 辰柳 敬一 議員
- ・期日 10月21日（月）
- ・場所 盛岡地区広域消防組合
- ・議案 6年度補正予算1件 5年度決算1件
- ・議決結果 全議案可決

●盛岡北部行政事務組合議会第2回定例会

- ・出席者 藤岡 徹 議員 深澤 進 議員 竹花 結 議員
- ・期日 10月31日（木）
- ・場所 八幡平市役所
- ・議案 6年度補正予算1件 5年度決算2件
- ・議決結果 全議案可決

●岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会

- ・出席者 姉帯 春治 議員
- ・期日 11月26日（火）
- ・場所 岩手県自治会館
- ・議案 6年度補正予算2件 5年度決算2件 条例制定1件
- ・議決結果 全議案可決

●盛岡広域環境組合議会定例会

- ・出席者 山崎 邦廣 議員 高宮 一明 議員
- ・期日 10月23日（水）
- ・場所 盛岡市勤労福祉会館
- ・議案 5年度決算1件
- ・議決結果 全議案可決



森林環境譲与税が活用されているトリプルまきフェスタ

森林環境譲与税の使途は、間伐等の森林整備に

農林環境エネルギー課長 制度開始の元年度からこれまでの譲与税総額は2億6781万円。

森林環境譲与税の使途は、間伐等の森林整備に

森林所有者への意向調査や森林現況調査、間伐や再造林、作業道補修などの森林整備事業、林業就業者の確保対策、トリプルまきフェスタの啓発などの事業に活用してきた。

森林環境譲与税の活用は

姉帯委員 森林環境譲与税のこれまでの譲与税総額と活用内容について伺う。

関する施策、人材育成、担い手の確保、木材利用の促進と普及啓発など森林整備に関する事業にあてることとされているため、森林所有者への意向調査や森林現況調査、間伐や再造林、作業道補修などの森林整備事業、林業就業者の確保対策、トリプルまきフェスタの啓発などの事業に活用してきた。

輝くふるさと常任委員会（辰柳敬一委員長）は、付託された議案の審査を12月9日に行いました。主な質疑の内容をお知らせします。

国有林の売却収入の見直しは

柴田委員 上外川地区の国有林の売却の売却収入があつたが、財源対策が必要のための売り払いであつたか。

農林環境エネルギー課長 上外川国有林の分収林の伐採による売却収入であり、分収林造林契約に基づき売却代金の7割が町の収入となるもの。森林管理署が入札し、落札され販売することとなった。昭和44年に契約されたもので、今後は、国有林の売却があつた場合は順次町の収益となる予定。

町中小企業振興基本条例制定の効果

山崎委員 町中小企業及び小規模企業振興基本条例制定に至る経緯について伺う。

いらつしやい葛巻推進課長 平成26年小規模企業振

興基本法が制定され、県は、平成27年に中小企業振興条例を制定した。人口減少、高齢化、地域経済の低迷等の経済社会構造の中で、小規模事業者、国、地方公共団体、関係団体等の行動を促す仕組みとして法律が制定された。

地方自治法においても、中小企業者等と関係者の役割を明らかにすることにより、中小企業者等の振興を推進し、経済の活性化や住民生活の向上を図るため全国的に条例が制定されてきた。

町では国の法律に先駆けて、中小企業の支援事



賑わいを取り戻したい中心市街地

業を実施している。町商工会や県内市町村の動向を踏まえ、今般、策定することとなった。

山崎委員 条例制定による町の発展と活性化の見込みについて伺う。

いらつしやい葛巻推進課長 町は、中小企業に対し、様々な支援事業を行ってきた。町の課題である商店等の跡継ぎ問題や空き店舗の問題等について、支援していきたいと考えている。

具体的な数値の見込みはないが、今後、対策を講じていきたい。

行政視察研修



大雨災害で崩れた町道小屋瀬塚森線



修繕工事を終えた清掃センター（乱吉沢）

町内所管事務調査実施 施設・設備の工事や整備状況を確認

輝くふるさと常任委員会(辰柳敬一委員長)は、町の課題解決策を探るため、10月28日・29日、鈴木重男町長と共に、福島県の広野町と埴町の取組みを研修しました。

福島県広野町

スポーツ交流の拠点

Jヴィレッジ

広野町と榎葉町にまたがる広大な敷地（東京ドーム10個分）にサッカーコート10面ほか、ホテル、フィットネスジム、プールなどを備えたJヴィレッジでは、全国規模のサッカー大会の誘致や各種スポーツ大会を開催するなど、スポーツ交流推進の拠点となりました。



広大な敷地にひろがるサッカーコート



みかん栽培の様子（広野町）

特産品開発

広野ブランド

広野町では、冬の平均気温が10度を超える温暖な気候を生かし、みかん栽培に取り組んでおり、特産品のみかんを活用したワインの商品開発を葛巻町と行っています。また、無農薬で栽培した特別栽培米「とんぼめがね」もブランド化を図っており、今後の消費拡大が期待されます。

グローバルな人材育成

ふたば未来学園

広野町では、総合学科の高等学校と併設する中学校からなる中高一貫教育のふたば未来学園があり、欧米の大学キャンパスを模して建設された校舎はスタイリッシュで、カフェや図書スペースが充実しており、生徒らが自由に利用していました。また、トップアスリーの育成も盛んで、充実した練習環境により、多くのオリンピックを輩出しているとのことでした。



10面整備されたバドミントン練習場

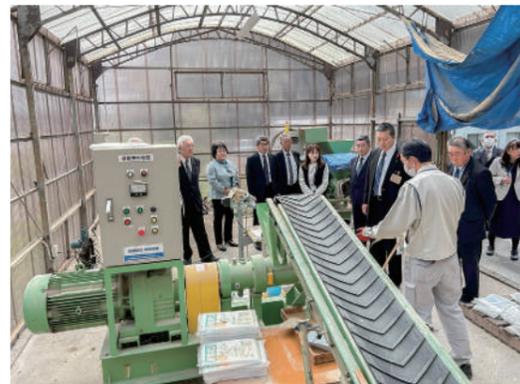
福島県埴町

サイクルーツリズムによる町づくり

埴町では、東白川郡を巡る「奥久慈街道」が国土交通省のサイクリングモデルルートに認定され、道路整備が進んだことで、久慈川と並行して整備されたサイクリングロードは、桜並木など美しい里山風景が広がり、全国のサイクリストがリピーターになっているとのこと。

竹を活用した農業の取組み

多数存在する竹を特殊な機械により粉砕し、竹パウダーを生産し、農産物の堆肥としての活用に取り組んでいるとのことでした。竹パウダーは、落ち葉などの分解を促進させ、作物が健全に育つとされており、処分になっていた竹を資源としての利活用に感銘しました。



竹パウダーを生産する特殊な粉砕機

輝くふるさと常任委員会（辰柳敬一委員長）は、10月16日に、5年度から6年度にかけて実施されている町内施設の工事進捗状況等5箇所を視察しました。

清掃センター 長寿命化修繕工事

清掃センターの長寿命化修繕工事を視察し、農林環境エネルギー課長から説明を受けました。清掃センターは、ごみ焼却を始めてから30年を経過しており、老朽化が進んでいます。盛岡広域8市町で進めている共同ごみ焼却施設の14年度稼働まで、使用しなければならぬことから、適切な維持管理について要望しました。

8月大雨災害被害 町道小屋瀬塚森線

今年8月22日から発生した台風10号の災害によ



新しい展示ケースを設置した小田やすらぎの家民俗資料館

小田民俗資料館 展示ケース設置工事

小田老人クラブが「地

る被害状況を視察し、地域整備課長から説明を受けました。町道小屋瀬塚森線の数か所で河川法面が大きくえぐれ、道路が欠ける状況が発生しており、早急な対応を要望しました。旧小田小学校の校舎を活用して展示された施設は、老朽化が進んでおり、資料の保存環境が懸念されることから、町の積極的な支援を要望しました。

議会では、議員報酬を積立てて、行政視察や政務調査の費用の一部に充てています。



藤岡 徹 議員

問 グループホーム整備の進捗は

答 年度内に検討委員会を設置

健康福祉課長 すでに候補者を選定しており、今後、検討委員として委嘱をお願いし、年度内に、他町村の現地視察や、整備に係る財源や経済性の高い整備方法などを検討する予定。

議員 検討委員会のメンバーは、

町長 障がい者グループホームの円滑な運営のため、設置場所、事業運営主体、人員基準、地域の理解などの事前協議が重要と考える。今年度は、整備に関する準備段階として、町内の関係団体や有識者で構成する整備検討委員会を立ち上げ、協議を進める。

議員 障がい者グループホーム施設整備計画のその後の進捗状況について伺う。

町長 障がい者グループホームの円滑な運営のため、設置場所、事業運営主体、人員基準、地域の理解などの事前協議が重要と考える。

障がい者グループホーム施設整備の進捗

活動の実績は、「観光資源による町のイメージ向上」として、サイクルツーリズムの推進に取り組み、町内各所にサイクルステーションを設置するほか、レンタサイクルの整備、サイクルマップの制作や配布により、自

議員 くずまきDMO事業の活動内容と成果について伺う。

町長 平成28年に設立されたDMO事業の推進母体である「くずまき観光地域づくり協議会」では、町民、関係団体、民間企業等及び行政が一体となり、地域経済の活性化と移住・定住人口の増加を図ることを目的として運営してきた。町内の幅広い分野、年齢の方々が繋がりながら新たな取り組みに挑戦している。

議員 目的や活動内容が分からないという町民の声がある。協働のまちづくりを掲げている当町では、周知を強化し、もっと住民を巻き込んだ事業にするべきでは。

町長 障がい者グループホームの円滑な運営のため、設置場所、事業運営主体、人員基準、地域の理解などの事前協議が重要と考える。

くずまきDMO事業の活動内容と成果



幅広い年齢の参加があったまちなか賑わい創出部会

また、くずまき鍋や、くずまきワインなどの観光モニターツアーを実施し、町の観光資源の掘り起こしや町外への魅力発信に努めた。

議員 目的や活動内容が分からないという町民の声がある。協働のまちづくりを掲げている当町では、周知を強化し、もっと住民を巻き込んだ事業にするべきでは。

町長 障がい者グループホームの円滑な運営のため、設置場所、事業運営主体、人員基準、地域の理解などの事前協議が重要と考える。

議員 目的や活動内容が分からないという町民の声がある。協働のまちづくりを掲げている当町では、周知を強化し、もっと住民を巻き込んだ事業にするべきでは。

いらつしい葛巻推進課長

また、活動等については、町のホームページやライブビジョン、くずまきテレビ、広報紙等で周知してきた。今後も引き続き周知の強化に努める。年度末には、事業報告会を開催するため、多くの住民にご覧いただきたい。

議員 目的や活動内容が分からないという町民の声がある。協働のまちづくりを掲げている当町では、周知を強化し、もっと住民を巻き込んだ事業にするべきでは。

町長 障がい者グループホームの円滑な運営のため、設置場所、事業運営主体、人員基準、地域の理解などの事前協議が重要と考える。

議員 目的や活動内容が分からないという町民の声がある。協働のまちづくりを掲げている当町では、周知を強化し、もっと住民を巻き込んだ事業にするべきでは。

Next page 一般質問 今ここが聞きたい

12月10日、5議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

9ページ 藤岡 徹 議員

- 1. 障がい者グループホーム施設整備計画のその後の進捗状況について
2. くずまきDMO事業の活動内容について

10ページ 山崎 邦廣 議員

- 1. 将来の安全安心な地域環境の確保について

11ページ 竹花 結 議員

- 1. 安心の子育て環境について
2. 子どもたちの教育と今後の未来について

12ページ 柴田 勇雄 議員

- 1. 高齢者福祉への充実支援策対応について
2. 会計検査院から不当と指摘された整備事業について

13ページ 山岸 はる美 議員

- 1. 婦人消防協力隊の活動について
2. 交通安全母の会の活動支援について



防災室のモニターを見学(くずま〜る4階)

災害に強いまちづくりを研修

3町議会議員協議会研修会(若手町・一戸町・葛巻町) 6年11月11日に3町の議会議員が一同に会し、相互の研修と情報交換を行うことを目的とした研修会が、当町くずま〜るで開催されました。

研修は「災害に強い安全・安心なまちづくり」と題し、波紫徳彰政策秘書課長の講演があり、これまで町が取り組んできた、地域情報化の推進や、防災拠点整備についての説明を受けました。



笑顔で体操を行う3町の議員(まき×まきホール)



たけはな ゆい 議員
竹花 結

問 子育て情報に公式 LINE の開設は

答 効果的な情報発信について検討

その後、保健師、栄養士、保育士など、多職種が関わりを持ちながら情報を共有し、必要なケアやフォロー等のきめ細やかな対応に努めている。

町長 生後1か月から12か月までを対象とする乳児健診は、県医師会、県医療局、岩手医科大学附属病院及び盛岡赤十字病院と契約を締結し、県内全ての小児科医療機関での個別受診が可能な体制を整えている。法定健診の1歳6か月健診及び3歳児健診については、子どもの健康と成長を支援するため、より関りを深めた重要な母子保健事業として位置づけ、葛巻病院及び町専門職員による健診方式により実施している。周知方法については、新生児訪問の際に、パンフレットと各種受診票をまとめて作成したファイルで説明している。

各種健診の周知方法等

議員 町外医療機関での乳幼児健診を希望した場合の対応と周知方法について伺う。

健康福祉課長 ライフビジョン等を活用しつつ、子育て世代が欲しい情報を受け取りやすい方法を考えていく。

議員 現在配布が停止している子育てガイドブックの今後は。
町長 平成28年から2年まで配付していたが、国や町の行政改革による様々な記載事項の修正が生じたため、3年以降は冊子形式のファイルへ移行した。



1歳6か月健診歯科講話の様子

議員 子育て世代へ向け情報を集約した、町独自の公式LINEを開設してはどうか。
議員 小中連携・中高連携における教育の取り組みと成果、今後の展開と方向性は。

町長 総合的な施策となる教育大綱において「活力ある葛巻を創造するたくましい子ども」の育成を掲げ、町総合計画の実現に向けて「学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成」を図るための教育施策を展開している。平成25年度から地域全体を一つの学び舎とした葛巻町ふるさとキャンパス構想を立ち上げ、開かれた学校、保育園、小学校、中学校、高等学校の4校種並びに行政、地域が連携した学校教育の展開を実施してきた。構想の立ち上げから12年経過した現在、児童生徒数が減少する中でも、就学前教育から義務教育、さらには高等学校教育まで、一貫した見通しを持った連続性のある教育の推進により、確かな学力の育成、児童生徒

子どもたちの教育と今後の未来は

一人ひとりの資質や能力の伸長といった成果につながっていると感じる。今後も葛巻ふるさとキャンパスを中心に、引き続き全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと主体的・対話的で深い学びの充実に努めていく。

議員 学習機会の保証等への取り組みは。
教育長 規定で定められた時定数、日数に沿って進めていく。また不登校児に対してもICT等を活用しながら学習機会の保証を進めている。

議員 学校間の横の連携が重要となつてくると考えるが。
教育長 広がる学びが重要と考える。遠隔オンライン授業等の新たな取り組みに引き続き注力しつつ、様々な活動を子どもたちの広がる学びに繋がるよう検討していく。



やまざき ひろ 議員
山崎 邦廣

問 防犯灯は充足しているのか

答 町内に1100基の設置対応

町長 町内には、防犯灯が1100基、まちなか街路灯が90基設置されている。増設については、各自治会等から必要箇所の要望を受けた都度対応しており、設置個数等は充足していると認識している。

防犯灯等の充足は

議員 防犯灯の増設やスマート街路灯の利用について伺う。

町長 スマート街路灯は制御機器が搭載され、環境情報や交通データを収集し、省エネや交通安全などの対策に繋がるほかデジタルサイネージ（電子看板）による情報発信など、様々な活用が期待できるが、スマート街路灯の必要性や費用対効果

夜間の照明不足の確認

のほか、住民ニーズやプライバシー保護の観点など総合的な視点で判断したい。

議員 夜間の照明不足の確認と対策について伺う。

町長 防犯灯の増設は自治会からの要望を受け、随時対応しているため、不足していないと認識している。引き続き自治会の要望を伺いながら、安全安心な町づくりに努めたい。

議員 防犯灯の電気代など維持管理に係る経費は自治会の負担があるのか。
総務課長 防犯灯の電気代や設置等に係る経費全て町で負担しており、自治会の負担はない。

議員 防犯ボランティア活動に参加しやすい環境充実のための必要な支援について伺う。
町長 町では「葛巻町地域安全に関する条例」に基づき、防犯指導員8名を任命し、登下校の見守りや学校訪問のほか、各種イベントにおいて出勤するなど、防犯のため必要な指導や防犯思想の普及に努めている。

防犯ボランティア活動

また、通勤、通学等の際には、町が委嘱している交通指導員をはじめ、交通安全母の会や自治会PTA、スクールガードなどと連携して、交通安全の保持に努めている。今後も安全安心な地域をつくるため、各種団体等と連携するとともに、各種団体が行う活動に対して支援していきたい。



町内に設置されている防犯灯



やまぎし み 山岸はる美 議員

問 婦人消防協力隊の今後の在り方は

答 組織の自主性を尊重

町長 婦人消防協力隊は、昭和56年に、安全で住みよい町づくりを寄与することを目的に、本部及び18の分隊で組織、結成され、現在は219名の隊員で構成されている。発足から40年以上が経過し、地域コミュニティによる自主防災組織の結成など、婦人消防協力隊を取り巻く環境は大きく変化しており、活動内容や組織の在り方を見直す時期を迎えていると考える。なお、盛岡広域管内では、6年度末をもって八幡平市婦人消防協力隊が解散する。一方で、婦人消防協力隊は、任意の自主防災組織であり、町が直接組織の在り方を決定する立場にないことから、社会情勢の変化を踏まえた在り方となることを期待する。

議員 婦人消防協力隊は町消防団の後方支援として長期にわたり活動してきた。今般、人口減少や高齢化に伴い、なり手不足もあり、隊員の平均年齢は62歳という状況であり、分列行進などの負担が大きいため、今後の協力隊の在り方について伺う。

婦人消防協力隊の在り方

町長 婦人消防協力隊は、町の各種行事のほか、広域消防組合や、地区支部主催の会議や研修会等に出席しており、公共性の高い活動であることに鑑み、活動に対する補助金のほか、活動に使用する車両の燃料費・日当を支給している。

議員 「交通安全は家庭から」を理念に、事故の無い明るい社会づくりの一翼を担っているボランティア団体交通安全母の会の活動への助成内容について伺う。

婦人消防協力隊への支援の考え



消防演習で行進する婦人消防協力隊

交通安全母の会への活動支援



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 10年先の高齢化対応いかに

答 老後は住み慣れた地域で

町長 10年後の人口は4430人の見込みで、現在より約940人の減。65歳以上の高齢者人口は2235人となり、現在より約490人減り、高齢化率は53%の見込み。人口減対策は、一定数の出生数の確保、健康増進、健康寿命の延伸等の施策を図る。人口の自然減の減少や町出身者の定着・移住の呼び込み対策により社会減の抑制を目指す。

議員 町の人口減少は、著しいが10年先の総人口と高齢者人口の推計及びその対策は、

2人に1人は高齢者

町長 高齢化に伴う身体機能低下によって介護状態にならないよう、各地区で介護予防教室、歯つらつ栄養教室、リハビリ専門職によるフレイル予防の教室開催、シルバーリハビリ体操の普及など介護予防事業を継続実施していく。

議員 健康寿命を延ばし、医療・介護費用の軽減を図るための介護予防施策は、

地域包括ケアシステム



日常動作に効果のあるシルバーリハビリ体操(冬部コミュニティセンター)

町長 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けられるよう、医療・介護・生活支援などのサービスを包括的に提供する。在宅医療・介護連携を図り必要なサービスが受けられる体制整備を推進する。



ふりーじゅで開催されたオレンジカフェ

議員 高齢化率の上昇、認知症や一人暮らし世帯等の増加から地域包括ケアシステムの推進対応は、

※オレンジカフェとは…認知症について知りたい、学びたい、考えたいという人が誰でも自由に集える場所

くずまきの笑顔

町立小学校の学習発表会



創立150周年記念学習発表会 葛巻小学校 (10月26日)



江刈小学校 (10月19日)

五日市小学校 (10月19日)

町内4つの小学校では、10月19日、26日に学習発表会が開催され、工夫を凝らしたステージ発表が繰り広げられました。特に小屋瀬小学校では、近隣のグループホームの利用者を招き劇に参加してもらうなど、地域との繋がりを交えた素晴らしい発表でした。また、一幕毎に各演目の写真撮影の時間が設けられるなど様々な工夫がなされ、職員・児童一体となって行事を盛り上げる姿がとても印象的でした。

「くずまき議会だより」に対するご意見・感想をお待ちしております

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

10月 30,000円 (平庭闘牛大会もみじ場所ほか)

11月 45,000円 (町勢功労者表彰式ほか)

12月 41,000円 (防火懇談会ほか)

次の定例会議は**3月7日(金)**です。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、議会だよりを手にとつてくださりありがとうございました。本年も明るい表紙と分かりやすい紙面で議会活動をお伝えし、皆様の声を大切にしながら、より身近な議会となれるよう努めて参りたいと思います。どうぞ、お気軽にご意見をお寄せください。町民の皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたしております。

広報常任委員会 委員 竹花 結



「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすいように配慮しております。一部当たり約86円で作成されています。印刷：(株)白ゆり 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6-1-50

森林認証した紙を使用しております。

